

## 「平成27年度市政懇談会 質疑応答集」が市ホームページに公開されたのを受けて、当委員会に寄せられたご意見から

---

市HPに、「平成27年度市政懇談会 質疑応答集」が掲載されましたね。

私は⑤氷室の郷の会場で、41.46.47.48の発言をさせていただきました。

発言主旨は、「**市民と行政間(議会との関係もそうですが)が一方通行である、つまりどちらも言いっぱなしで、思いの共有化が進んでいない。そこで、思いのキャッチボールができるような市民参加・情報公開システム構築を進めてもらいたい。**」というものです。

具体的には「**議会議事録の検索システム導入**」「**委員会議事録のHP上での公開**」「**市民会議室のオープン化(氷見市のシステムなども参考になりますね)**」「**(かつて八木町時代に実施されていた)電子会議室の開設**」などの提案をしました。

その点の施策の推進にあたって重要な位置づけとなっているのが当委員会であると思い、当日の懇談会でも、「市民協同ばかりでなく、市民参加の部分についての積極的な議論を臨みたい」と発言いたしました。

しかし来週開催予定の当委員会でも、議題は「市民協同」に関するものばかりのようで、一向に「市民参加」にかかわる議論が重視されていないように感じます。

実際的には、南丹市の活性化(行財政改革の視点においても)のためには「市民協同」の視点はなくてはならないものとは思っています。

しかし、市民に鬱屈している不満の大きな点は「私たちの思いをもっと聞いてよ」というところではないかと私は感じています。実際、「市町村合併」の時も「小学校再編」の時も、はじめに結論ありき、形だけ民意聴取のポーズ。というのが現実の姿であったと思っています。

そのような政治経験を積んでいる南丹市民は、「どうせ何を言っても意味なし」といった政治的虚無感が心中を覆っている感を受けます。

市民が主体的に市政にかかわっていきこうという気概が生まれにくいことには、町は進化しないのではないかと考えています。この重苦しい現状を変える必要があります、その重要なキーワードが「市民参加」であると私は思っています。

行政・議会の「市民参加・民主主義的手法に関する意識の低さ」がある中(市民参加の必要性・具体策について懇談会等で毎年のように提案していますが、行政、議会側からはまともなご返答はいただいたことがありません。懇談会において、市長さんは発言主旨は委員会に伝えておく、と言っていたのですが、あまり信頼性を置いていません。

先日実施の議会説明会における「議会基本条例」への議会側の姿勢にも疑問を感じる部分がありました)、砦となるのは当委員会だと思っています。

できましたら、委員長様に、このメッセージを直接お伝え願えたらと思います。

よろしくお願いします。

南丹市八木町 ○○○○○